

一(一面よりつゞく)

れて居る、選挙なるものは選挙民から推されて出るのではなく、多額の運動費をつかつて、出して貰ふのである。されば心ある高潔の士は、そうした渦中に投ずるを欲しないので、議員の素質が逐年低下して行くことは、争はれない事實である。されど我々の理想とする様な選挙は、何時の世に實現出来るものであるかは大疑問であり、未來永劫に於ても、或は實現する事は、覺束ないかも知れぬ。

故に予は、この一生涯に於いて、断じて如何なる選挙にも、立候補しないといふ、方針を以て今日に至つたものである。而して立候補するとか、議員になるとかいふことは、予が自信心を傷つける事夥しく、一種の不名誉と心得て居るのである。されば従来、村議、縣議、將た衆議等の候補者に擬せられた事、推薦せられた事、其運動費を提供する事云はれた事等は、幾度もあつたが、何れも其厚意を謝して、お断りして来た次第である。

數の知人友人を持つて居るので、其内には此度の様な「大内」も、陛下の一赤子として、いよく縣會に出る氣になつたか」と、笑つて居る人々もないとも限らぬ。予としては、そんな事は一向平氣であり、予は相變らざる大内であつて、不肖と雖も予には予の使命があり、研

在郷軍人警炭分會

至誠奉公の宣言決議

帝國在郷軍人會警炭分會にては、三月十二日午後一時より、淺野翁頌德記念館に於て、満田少尉司式の下に、左記の順序により第四回總會を開催し、別項に掲載したる如き、至誠奉

究がある。日暮れて道遠しの感なきにしもあらざれども、陛下の一赤子として、一意専心、其使命其研究に向つて、斃れて後己むの覺悟の下に、邁進を続けやうと思つて居るのであるからあ、そうであるのかと、御承知を願ひたいのである。(三月五日稿)

健康組合會議 二月二十日午後一時より淺野翁頌德記念館に於て、警炭健康保險組合會議を開催、昭和十四年度収入豫算の件、同醫療契約の件

衛生講演會 三月一日午後六時より、警炭長倉坑従業員俱樂部に於て、東北醫大教授藤正二氏の時局と健康と題する講演あり、終つて活動寫眞を上映九時散會した。

宣言

暴支停戦の聖戰勃發して茲に一年有餘、我皇軍の忠勇義烈に依り、遂には首都南京を、次いで武漢三鎮及廣東を陥落せしめ、皇威を中外に宣揚したり。然して東亞永遠の平和を企圖する帝國の方針に呼應し、北支には臨時政府、中支には維新政府の設立を見、將政見は今や渺たる輿地政權に轉落す。是に依つて聖戰所期の一部の目的は達成せり。雖も、事變は決して終熄せしむるものに非ず。長期建設の偉業は稍其の緒に就きしものみにして帝國の負荷愈加はり、更に幾多非常の難局に直面す。此秋に方り、國家の干城たり國民の中堅を以て任する我等在郷軍人たるもの、其の心に聊かの弛緩あらんか、九似の功を一簣に虧くに至り、國の神と成りたる我輩軍人たるもの、其れ又何れの日に面目あらんや、如斯んば永く禍根を胎し、今次聖戰の目的たる東洋永遠の平和、其れ又何れの日に達成せらるべき、須らく舉國一致、牢固たる決意の下に、今後來るべき有ゆる障礙を斷乎排撃し、以て帝國國是の貫徹に邁進せざる可からず。本日第四回總會を舉行するに當り、英靈照の下のに皇軍將兵の健闘を感謝し、其の武運の長久を祈りつゝ決意を宣明す。

決議

一、吾等は益々軍人精神を涵養し、軍事能の増進を圖り、以て應召の完璧を期す
二、吾等は國際の政局に深く注意し、郷黨の中堅核となり、長期戦に對する覚悟を益々鞏固にし、堅忍持久、我に仇なす敵を斷乎排撃し、以て帝國の大使命達成に邁進せんことを期す
三、吾等は常に戦線にある將兵の困苦を偲ひ、忠實業に服し産業報國の完璧を期す
昭和十四年三月十二日 帝國在郷軍人會警炭分會

博士の講演會 二月十九日午前十時より淺野翁頌德記念館に於て、東北大學教授法博中川善之助氏の南洋群島の土人の生活風俗に關する講演あり、其映畫とがあつて、啓發せらるゝ處多大であつた。聽講者は警炭職員並に役付及従業員等二百余名であつた。

日本評論社 發行所 東京三丁目 内郷村報社

教育制度改革概論

矢野恒太序 大内民憲著 (四六版二二頁 定價五十錢 郵税六錢)

村會記

二月二十三日村會開議左 三役場費、二〇〇三八圓。 四土木費、二四〇〇圓。五 議案第一號、警防團設置の 諮問第一號、警防團の定員 得たる淨財、統後會に寄附 〔其三〕金五拾錢。町田某 家計を節約して統後會へ。 〔其四〕金八圓。上級家庭 三月二十六日舉行。本村有 縣會 補缺選舉 縣議小松章氏逝去につき

予は全縣下に涉つて、多
次第である。

昭和十四年三月十二日

帝國在郷軍人會 炭礦分會

本紙贊助金寄贈芳名
金壹圓 白水 服部 幹雄
金壹圓 同 菊野 三千雄
金壹圓 同 菊野 三千雄
金壹圓 同 菊野 三千雄
飯坂 菊野 三千雄
大内 鐵造

教育制度改革概論

矢野 恒太 大内 民憲 著
(四六版二二頁 定價五十錢 郵税六錢)

行き詰る現代の教育制度を整理し、
て、學理と實際と、歴史と實際とから
新に大内案九主義を提唱す。天下
知名の士の賛同攻撃を堪へず。ま
れど未だ一人の抗議者も現はれず。

我國教育界の權威
前京大總長小西重直博士
書を寄せて曰く、多年の御禮願下實地
ノ御試練ニ基クニ學界英國ノ大精神ヲ拜
味仕テ不忠不孝ニ可ク申儀云々。

發行所 日本評論社
東京 三丁目
取次所 内郷村報社

村會記

二月二十三日村會開議左
の事項を決議す。

諮問第一號、警防團員諸手
當其他給與に關する諮問の
件答申。議案第一號、村基
本財産預入先決定の件。同
第二號、歲計現金預入先議
決の件。同第三號、一時借
入金議決の件。同第四號、
村稅賦課率決定の件。同第
五號、款内流用專決處分議
決の件。同第六號、昭和十
四年度歲入歲出豫算。
歲入 一七五、三二六四
歲出 一五八、四六七四
經常部豫算額
一六、八五五圓臨時部豫算
額。歲入内譯。一財産より
生ずる收入、二七〇九圓。
二使用料及手数料、九八兒
圓。三義務教育費國庫下渡
金、四三九八三圓。四就學
獎勵金、二圓。五交附金一
五七九圓。六國庫補助金、
一四四八圓。七縣補助金、
二千六百五九圓。八寄附金
一五四九八圓。九繰越金、
六六八〇圓。一〇雜收入、
二四七五圓。一一村稅、八
二七一〇圓。一二繰入金ナ
シ。一三補給金、五七三〇
圓。
歲出内譯。一神社費、一五
〇圓。二會議費、七六一圓

三役場費、二〇〇三八圓。
四土木費、二四〇〇圓。五
小學校費、一〇六九四六圓
六青年學校費、一七八八圓
七、家政女學校費、五六八
九圓。八職業青年學校費、
二八六四圓。九學事諸費、
三七四圓。一〇傳染病豫防
費、四一二圓。一一隔離病
舍費、四一四七圓。一二衛
生諸費、五二八圓。一三勸
業諸費、五五圓。一四統計
費、三二二圓。一五救助費
四四圓。一六救護費、二三
三六圓。一七母子保護費、
五二七圓。一八警備費、一
二七七圓。一九基本財産造
成費、二〇八四圓。二〇財
産費、一六八圓。二一諸
稅及負擔、二二一圓。二二
公金取扱費、一八圓。二三
地方改良費、一六一圓。二四
二四雜支出、二〇〇七圓。
二五豫算費、七〇〇圓。
臨時部。一補助費、三一五
〇圓。二公債費、七八四圓
三小學校營繕費、三三四七
圓。四家政學校營繕費ナシ
五雜支出、六九六圓。七戻
入金、五六六九圓。八積立
金、一六〇九圓。八事變
費、一六〇〇圓。
三月六日の村會開議左の
事項を決議す。

諮問第一號、警防團の定員
に關する諮問答申の件。
其定員を四四八名とす。
議案第一號、警防團設置の
件。其内容概要、一名稱内
郷村警防團。二定員及組織
定員四四八名。團長一名、
副團長一名、庶務部長一名
分團長八名、副分團長八名
班長一三名、副班長一三名
警防員四〇三名。三諸給與
年手當、月手當、出場手當
用祭料、遺族扶助料、廢疾
扶助料、療治料及救助料。

得たる淨財、銃後會に寄附
〔其三〕金五拾錢。町田某
家計を節約して銃後會へ。
〔其四〕金八圓。上級家庭
防空群が、其訓練に参加、
村より受けたる補助金を、
其儘、國防費に献金。代表
者若田榮治氏外七名。
三十五 大越會
周回忌
三月七日には、大越中佐
逝いて三十五周年に相當す
るを以て、同會に於ては午
前十時より墓前祭を執行し
た。沼田會長、遺族親戚會
員及村内各學校兒童等數百
名雨を衝いて参列、僧侶の
讀經回向に始まり、會長の
祭文朗讀焼香。次いで遺族
並に一般の焼香ありて午前
十一時終了した。因みに當
日は故中佐未亡人が遙々來
村午前十一時半塋城に到り
厚く夫君の靈を弔ひ、願成
寺に少懇、本堂修繕費とし
て金拾圓、大越會基本金
として金拾圓を寄附、平市
に一泊翌日陸相官邸に歸ら
れた。

銃後生 班の組織
活刷新
二月十九日午後一時、淺
野翁頌德記念館に於て、警
炭産業報國親和會世話役會
を開催、銃後生活刷新班の
組織に關し、各分部從業員
の自發的運動の指導方法及
從業員の國民登録申告に就
き上原理事より説明懇談
をなし午後三時散會した。

勳章傳達

故陸軍歩兵上等兵 北郷久治郎
勳八等功七級

特志の數々

〔其一〕金貳圓拾六錢。宮
澤玉木トク子氏は其家庭及
路傍等より拾ひ集めたる古
新聞、古釘、空罐等の賣揚
金、銃後會に寄附。
〔其二〕金參圓。代比田井
サク七十二歳は、地藏尊信
者にして、其寒行によりて

傷痕相談所開設

財團法人大日本傷痕軍人
會福島縣支部にては、平市
役所社會課内に支所を設置
小野道直氏を主任として、
一般傷痕軍人の相談指導に
あたり、治療其他の手續き
に關し、遺憾なきを期する
こととなつた。

高小卒 就職概況

本年度内郷尋高卒業生
は男女合計四一五名にして
内學校の斡旋によつて就職
したる者、男女計一四三名
同じく縁故關係によるもの
三〇名。求職手續中の者六
一名。家事に従事する者八
八名。上級學校希望者九三
名の由である。

獨力で一家更生

長倉坑の孝行少年

當年二十歳の朽木縣芳賀郡須藤村覺四郎氏長男川上篤儀君は、一念發起燃料報國の勇士となつて、國家に奉仕すると同時に、一家を更生せんものと奮ひ立ち、舊臘十二月より警炭長倉坑の採炭夫となり、精勵奮闘毎月少くも六十圓を送金して、借財を返済しつゝあるが、徴兵迄にはそれを完済するは勿論、四人の弟妹を有する一家が、軍事扶助をうける等の後顧なからしむる準備にも、意氣込み両親を喜ばせて居るが、それに最近其小遣ひを節して、金一圓五十錢を警崎村銃後會に寄附し、關係者をして感嘆せしめた。

因みに目下警城炭礦の各坑寄宿舎には、一千余人の勇士が、川上君同様奮勵精勤、一ヶ月百圓内外の働きをなし、二十圓内外の食費雑費を差引いて、全部國許に送金して居る人々が少なくないのである。

本村 勇士の消息

北支戦線に奮闘中の本村出身、江連典、鬼工兵伍長、坂場正歩上、伊藤喜久男歩上、篠原精次特一、方波見

此母にして此子あり

黒頭巾生

陸相より感謝状
昨年七月棚機の行事を廢して其費用を恤兵部に献金したる橋本章氏外二十三名(宮澤十六十八)に對し此程板垣陸相より感謝状を發送して來たので、關係者一同感激して居る。



君部服 然して繁君から 君々詳細なる陣中 通信を寄せられ たが、今其内敵前上陸の一節を 護兵の本分を説いた、和歌三首を 左に摘録紹介する。

夜警 視察と慰問
警炭青年會員及住吉温友會員諸君は、例年の通り冬期間全山の夜警の任にあたり居るのであるが、其勞を多として、三月十日午後

白水高階炭礦主任服部幹雄氏長男繁君は、海軍一等看護兵として出征、廣東虎門砲台攻撃には陸戰隊に参加した勇士であるが、其母堂さめ子夫人は、事變勃發以來、愛婦會員として、熱烈に銃後の活動を續けて居るが、尙足らずとして、川平校給木訓導夫人の子女史と相語り、甲斐々々しく勞務に服し、其資金を國防資に献納したる事である。

は進行もどかしい。(中略)も大分走つた、四邊は闇だ。突然艇の速力が鈍つて一同よろめいた。目指す陸岸より二百米位の處で艇の底がつかへて終つた。闇の中から「上陸用意!」と沈着な聲に降み通る様な力強い中隊長の命令が降つた。スハ今を待たずに待つた時が來たのだ。皆無言の儘緊張しつゝ、武装を整へ、次の命令を待つ!命令一下我勝ちにザンザンと河の中に飛び込む。味噌汁の様に濁つた水が胸の邊まで濡らす。河底は膝を没する位泥が深い。(中略)戦友はさんく進む、負けていざあせが、足が泥にすいて着いて中々抜けない、一足毎に一尺位足がめり込む、旗手が足を取られて尻餅をつく、我等の軍艦旗や武器を濡らすまいと、之を両手に捧げ立ち上りうらやま焦つて居る。後から押上げてあげたら、漸く立ち上つて苦笑して居る。此責任感



君部服 然して繁君から 君々詳細なる陣中 通信を寄せられ たが、今其内敵前上陸の一節を 護兵の本分を説いた、和歌三首を 左に摘録紹介する。

あつてこそ皇軍は強いのだ!泥まみれ濡れ鼠となつて河上陸して終つた。命により闇の河岸に整列した。大河岸の闇は益々無氣味に静まり返つて居る。砲聲で火災を起したらしい對岸の船が、河水に映じて金波を漂はしてゐる。突然二百米位の左前方の崖の上で、五六發の銃聲に續いて機銃の音がした。皆之を避くべく伏した。機銃弾銃が本隊より右方三十米位の河の中にシュウシュウ無氣味な音を立て飛んで行く。かたて覺悟はしてゐたものの、かゝる刹那には種々

銃後の皆様へ

陸軍歩兵軍曹

此一文も黒頭巾生を通じて、本社に寄せられたものである。想ひ起せば、先年某月某日、突如として弟軍太が召集を受けて出征いたしました。彼は間もなく戦地に向ひ、第一線に活躍する事になりました。軍隊教育を受けた兄として、焦燥な氣に燃え乍ら、自分も早く出征したい。君國の爲に盡すのは今の時機である、弟に負けてなるものか、朝な夕な神様に向ひ「さぞぞ私を出征させて下さい」とお祈りいたしました。

某日漸く願叶つて召集令狀は參りまゐりました。五月前弟を送つた自分分は、今弟と同じ様に、鎮守様の前で、多くの村人や、親戚の人達より盛大なる送別會をうけました。其際頭では、多くの戦友と共に歡呼の聲を、手に手に持った日の丸の旗波に送られて、皆様とお別れ致しました。其から間もなく會では夢に遠見た、中支の戦線に達し、XX部隊に所屬しました。

大越君は明大出身の法學士で、平青年學校教師、又鐵道二段の猛者である。 黒頭巾生附記

大越君は明大出身の法學士で、平青年學校教師、又鐵道二段の猛者である。 黒頭巾生附記

て、自分に一票を投ぜられん事を、參拜九拜して、嘆願するのである。

て、自分に一票を投ぜられん事を、參拜九拜して、嘆願するのである。

内郷村報の 六大使命

- 一、政權改革を促進して、村を充實主眼
- 二、村内外各團體の活動状況を報導し併せて其協力を計り、進現和進努力の實現を期す。
- 三、本村社会事業の徹底を期す。
- 四、村内の善悪進行を監視し、且之を奨励す。
- 五、本村を本村出身者及本村籍者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、餘餘力を以て國運發達に當る。

れば、改革もされて居らず相變らず、腐敗し墮落して居る。上は貴衆兩院議員か

本紙發行は内一取の事業にして、其の社報は子孫に傳ふる遺言を榮ふるものなり。

本紙定價 二部金五圓一ヶ月郵費共金四十八圓
發行所 内郷村報社
編輯者 大内 民 彦
印刷所 平 活 版 所

て、自分に一票を投ぜられん事を、參拜九拜して、嘆願するのである。